

長岡市民と市政

11月号 昭和40年11月10日発行

市勢	11月1日現在
面積	259.92km ²
西北	22.1km
東南	23.1km
南西	101.2km
世帯数	37,346 (132万)
人口	154,692 (212万)
男子	75,754 (135万)
女子	78,938 (77万)
	(10月1日と比較)



昨年までに改修した栖吉川—長倉町地内—



改修中の栖吉川—地蔵町地内—

完成間近い河川改修

十六億円を投じた災害復旧助成工事

水を治めるものは国を治めるといわれていますが、治水問題は、市政の根本をなしております。当市は、わが国三大河川—信濃川をはじめ太田川、栖吉川、柿川、猿橋川、葛蒲川、黒川等の中小準用河川が流域内を縦横に流れておりますが、これら河川の治水利水の状態によって市政の発展が左右されるとしてもよいかと思っております。

これらの河川のうち、過去の災害を機会として、昭和三十六年度から約十六億円を投じて太田川をはじめ、栖吉川、柿川の三川の災害復旧助成工事が進められ、一部を残して大部分は来年度で完了する予定であります。

とくに、柿川の合流計画をもつ、栖吉川の改修工事は、昨年度まで長倉町から川崎町までの三キロ、本年度は川崎町から城岡町までの二・二キロにわたって今までの川幅を二倍から三倍にする改修工事が急ピッチに進められています。

これら改修工事の完成は、その流域をたびかさなる水害から守るものとして、市民のみならず大きな期待を寄せられているのであります。

納税のお知らせ

個人事業税第2期分
長岡財務事務所
所得税第2期分
長岡税務署
納期限 11月30日

住居表示のはなし ひびくわかる

町の仕組み

今回は、住居表示制度の新しい町の仕組みについて、お知らせいたします。

▼今までの境界
現在の町名は、道路が中心になつて、市内のこの町をとつても、道路を挟んでその両側が同じ町であり、町と町との境界は、地番の境で、区切られております。

▼厚生会館の一角の例をとつても
大手通り一丁目、城内町一丁目、東坂之上町一丁目が入り組み、表札を見ないと町名の見分けがつか



ないし、大きな建物は二町内にまたがっているのが現状です。

▼ひとめでわかる町
そこで新しい住居表示制度では、誰れでもひとめでわかるように、次のように区分いたします。

(1)町の境界：新しい境界は、今まで地番区域と関係なく、道路、河川、鉄道線路など恒久的な施設または、有名な地物で区切ります。

(2)町の広さ：住宅地帯は一万坪、四万坪、商業地帯は一万坪、三万坪、工場地帯は二万坪、八万坪くらいを町の広さの標準といたします。

(3)街区の番号表示：一つの町はいくつかの街区に分けられます。そして各街区の四角に町名と街区番号を書いた表示板をかかげますので、町の名前等がいつそうわかりやすくなります。

(4)町名：昔から親しまれている町名または、新しい町名のどちらかを用いますが、その地域にお住みの皆さんの意見を尊重し、さらに、当用漢字を用いて、他の町名に似かよった名称はつけないで新しい町名をつけることにいたします。

年末保証付 融資の 二利用を

中小企業の皆さんに
対して、年末用決済資金として、県信用保証協会の保証付融資を実施中ですので、ご利用ください。なお、詳細については、長岡商工会議所、市役所商工課、市内各金融機関へお問合せください。

広報板

お知らせ

市営住宅入居者を募集いたします

市内上除町に建設中の市営住宅二十四戸の入居者を募集いたします。

市営住宅は、簡易耐火造りで、六帖二間、台所、物置、便所つきで、家賃は月三、二〇〇円(予定)で、ことしの十二月なかばに、入居の予定ですが、ご希望の方は十一月三十日まで市住宅課へ申し込んでください。

なお、入居には、市内に住所または勤務場所があり、同居の家族があるなどの資格が必要ですが、市では、住宅対策委員会での選考うえ、公開抽せんにて決定いたします。

「長岡手形交換所」として、きたる十二月一日から発足する予定です。準備が進められています。いままでは、一部の業者の不渡手形の発行によって、多くの業者が迷惑し、ひいては市の産業界の発展に支障をきたしているため、この手形交換所が計画されたもので、発足しますと、手形法、小切手法上の規定によって取り引きが行なわれることとなります。

なお、詳細については、市商工課や取引先の銀行にお問い合せください。

無料人権法律相談所を開催

長岡人権擁護委員協議会の主催により、次のように開催されます

月	日	時間	会場
11	19	午前10時~12時	大橋通所
11	22	午後2時~4時	大橋通所
11	24	午前10時~12時	大橋通所
11	25	午後2時~4時	大橋通所
11	26	午前10時~12時	大橋通所
11	29	午後2時~4時	大橋通所
11	30	午前10時~12時	大橋通所
12	1	午後2時~4時	大橋通所
12	2	午前10時~12時	大橋通所
12	3	午後2時~4時	大橋通所

相談内容(秘密厳守)
①公務員の職務執行にともなう侵害、賠償請求、慰労金請求等の公害、その他人権侵害問題。
②借地、借家、金銭関係、自動車事故による損害等。

住みよい郷土をつくる郵便貯金

郵便貯金は、みなさんの生活に結びついた貯蓄として、ひろく利用されていますが、ことし創業90周年を迎え、貯金現在高も2兆4,000億円をこえました。

この貯金は、国の財政投融資の一環として運用され、長岡市もこの融資を受けて、学校建築や市営住宅の建設などを進めております。豊かに、そして明るい社会を築くために、郵便貯金に加入いたしましょう。

路上での長時間駐車はできません



市勢躍進へ

水道 妙見地内に新浄水場建設 十二億五千万円の五カ年計画

現在の上下水道施設(中島浄水場)は、昭和二年に竣工以来四十年を経過し、この間市の発展につれて昭和二十五年以来四期にわたって拡張工事を実施してきましたが、昭和三十四年頃から、信濃川の取入口附近に中洲ができて水位が低下し、取水量の確保が困難となり、そのうえ、水の使用量は年ごとに増加しているため、各施設の増補改良や予備能力を含めて、最大限に給水しているのが現状であります。

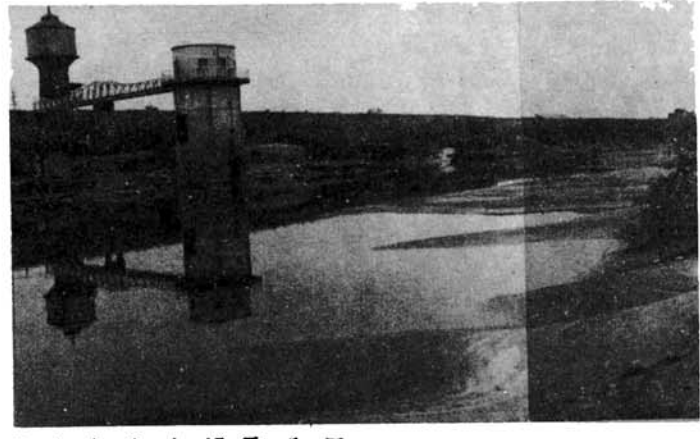
そこで新しい上下水道拡張計画はこのような水不足の不安を根本的になくして、市の将来の発展に備えるため、総事業費一十二億五、〇〇〇万円、五カ年計画で、現在の中島浄水場の施設を増補改良するとともに、あらたに浄水場を設けて約十二万人に対して現在の約二倍の能力で給水できるようにする予定です。

新しい浄水場は、取入口を信濃川の妙見町白岩地内に設け、その附近に敷地約三万三千平方メートルの総合開発計画と広域的な土地利用計画にもとづく土地利用とレクリエーション施設の整備を積極的に進めるため、財団法人「長岡市開発公社」の設立を、このほど県の許可も得て、事業にとりかかることになりました。

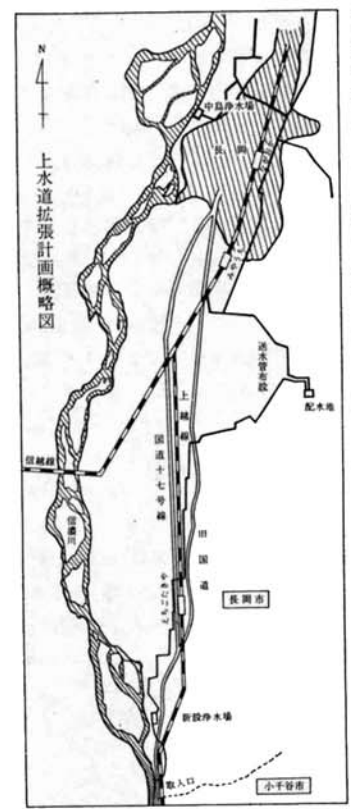
その事業内容は、公共用地、住宅地の造成およびその分譲、工場用地の造成、またはレクリエーション施設の整備など、市でやりたくとも、現在の市の立場では、財政規制や行政面でいろいろと支障があつてできないものを、市開発公社として、市議会の承認を得た市出資金一、五〇〇万円と二億五、〇〇〇万円の範囲内で金融機関から融資を受けて開発公社の事業を実施するものです。

もちろん、市と一体となって市政に即した計画を進めていくものですが、本年度事業としては、東北中踏地の宅地化一万九千八百平方メートル、公営卸売市場用地四万九千五百平方メートルと市営住宅用地一万九千八百平方メートルなどの造成および分譲を行なう予定です。

なお、今後は、第二長岡高校跡地の買入、工場用地などの買取あつせん、悠久山・東山県立自然公園の観光開発を進めるため、八方台休憩センターまで延長約三キロに、全国初のロープモノレールをかける計画もたてられています。



現中島浄水場取入口



市では、市の発展にともなう現在の上下水道施設の能力低下による水不足をなくすため、新たに上下水道拡張計画をたて、また、長岡市の総合開発公社を設立すべく、準備中でありましたがこのほど、県知事の認可を得ましたので、本格的に事業をおし進めることになりました。

公置 広域都市としての土地利用と レクリエーション施設の整備

市の総合開発計画と広域的な土地利用計画にもとづく土地利用とレクリエーション施設の整備を積極的に進めるため、財団法人「長岡市開発公社」の設立を、このほど県の許可も得て、事業にとりかかることになりました。

その事業内容は、公共用地、住宅地の造成およびその分譲、工場用地の造成、またはレクリエーション施設の整備など、市でやりたくとも、現在の市の立場では、財政規制や行政面でいろいろと支障があつてできないものを、市開発公社として、市議会の承認を得た市出資金一、五〇〇万円と二億五、〇〇〇万円の範囲内で金融機関から融資を受けて開発公社の事業を実施するものです。

もちろん、市と一体となって市政に即した計画を進めていくものですが、本年度事業としては、東北中踏地の宅地化一万九千八百平方メートル、公営卸売市場用地四万九千五百平方メートルと市営住宅用地一万九千八百平方メートルなどの造成および分譲を行なう予定です。

なお、今後は、第二長岡高校跡地の買入、工場用地などの買取あつせん、悠久山・東山県立自然公園の観光開発を進めるため、八方台休憩センターまで延長約三キロに、全国初のロープモノレールをかける計画もたてられています。

2倍の給水能力となる新浄水場建設計画

計画年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
給水人口	88,500人	88,500人	120,000人
1人1日最大給水量	338.1リ	250リ	450リ
1日最大給水量	29,137m ³	24,500m ³	54,000m ³

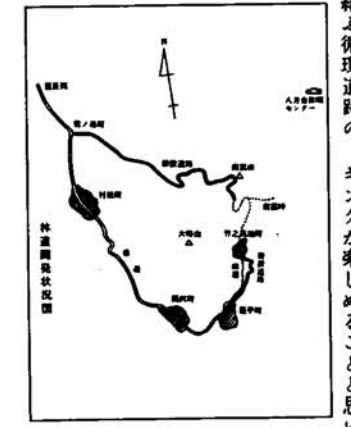
竹之高地を結ぶ林道完成へ

竹之高地町は南蛮山、大峰山、狼倉山などのいくつもの山にかまれて五十八戸約四百人が住み、長岡の中心街へは、蓮平町まで一、二キロを歩いて、さらにバスで五十分というところ、日用品や生鮮食品などは肥料の買入れ、米の出荷などはすべて人力に頼っているわけです。

市では、この不便をなくしようという調査の結果、蓮平一竹之高地一狼倉山を結ぶ循環道路の新設工事に昨年から一カ年計画で、蓮平一竹之高地間約一・一キロに幅四メートルの道路を新設し、今月末の完成をめざして地元の方々の協力を得ています。

竹之高地町は南蛮山、大峰山、狼倉山などのいくつもの山にかまれて五十八戸約四百人が住み、長岡の中心街へは、蓮平町まで一、二キロを歩いて、さらにバスで五十分というところ、日用品や生鮮食品などは肥料の買入れ、米の出荷などはすべて人力に頼っているわけです。

市では、この不便をなくしようという調査の結果、蓮平一竹之高地一狼倉山を結ぶ循環道路の新設工事に昨年から一カ年計画で、蓮平一竹之高地間約一・一キロに幅四メートルの道路を新設し、今月末の完成をめざして地元の方々の協力を得ています。



南蛮山での林道開発

悠久山に市営球場を建設

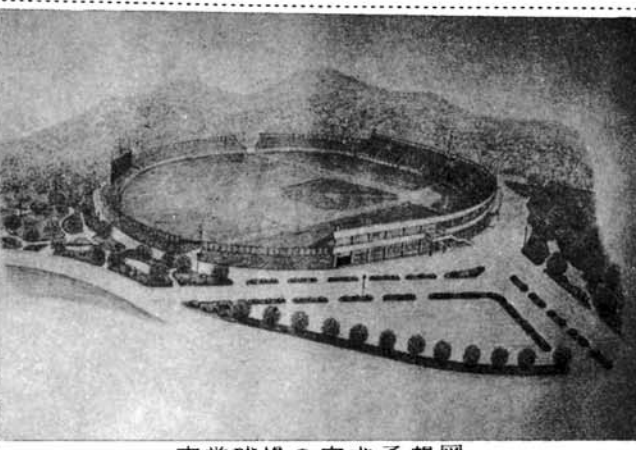
県下初の老人福祉センターも

市では、市民の皆さんが、経済的にも、文化的にも、恵まれた豊かな毎日をおくられたように、体育施設の整備や社会福祉施設の充実を努めておられますが、このほど、市営野球場の建設が決まり、また、市と市社会福祉協議会によって、老人福祉センターが建設されることとなりました。

画で市営野球場が建設されることになりました。建設される野球場は、ホームベースからセンター壁までは、百二十メートル、約一万三千平方メートルのグラウンドを備え、収容人員は一万三千人という県下に誇る野球場です。

計画により、球場全部に暗き排水を行なう排水はけをよくするとともに、炎天時には散水もでき、外野スタンドは芝ふですが、内野スタンドは鉄筋コンクリート造り二階建て、その下には選手控え室をはじめ、審判の休憩室、管理室、事務室、役員室、またネット裏には放送室が設けられます。

いま、設計もできあがり、来年末完成をめざして、本年度は排水の面から工事が進められますが、完成しますと、多くのスポーツマンをはじめ、市民の皆さんから親しまれることと思えます。



市営球場の完成予想図

市では、市内悠久町、県営プール脇に、ことしと来年の二カ年計画で、市営野球場が建設されることになりました。建設される野球場は、ホームベースからセンター壁までは、百二十メートル、約一万三千平方メートルのグラウンドを備え、収容人員は一万三千人という県下に誇る野球場です。

計画により、球場全部に暗き排水を行なう排水はけをよくするとともに、炎天時には散水もでき、外野スタンドは芝ふですが、内野スタンドは鉄筋コンクリート造り二階建て、その下には選手控え室をはじめ、審判の休憩室、管理室、事務室、役員室、またネット裏には放送室が設けられます。

いま、設計もできあがり、来年末完成をめざして、本年度は排水の面から工事が進められますが、完成しますと、多くのスポーツマンをはじめ、市民の皆さんから親しまれることと思えます。

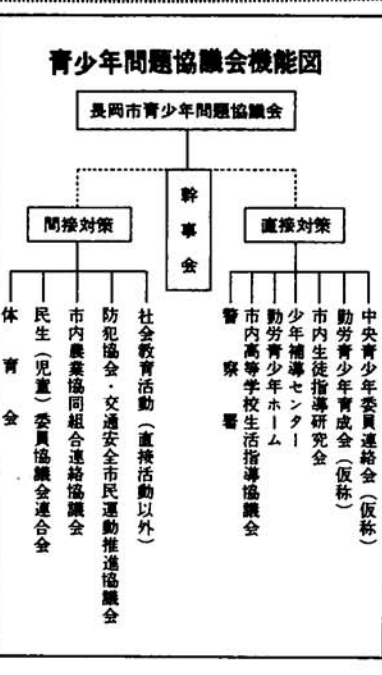


老人福祉センター完成予想図

八六四万円で、来年六月末の完成をめざして建設されます。

老人福祉センターには、百五十人が収容できる大集會場や面接相談室、静養室、娯楽室のほかに、いつでも利用できる大浴場、それに、あんま器等を備えた機能回復室など、おとしよりが疲れを回復す楽しい、いこいの場として活用

火の用心
秋の火災 予防運動
11月26日〜12月2日



青少年の健全育成を総合的に

長岡市青少年問題協議会を設置

市では、青少年の健全な育成をはかるために、勸業青少年ホームや少年補導センターなどの施設をはじめ、小中学校PTA、生徒指導研究会、防犯協会、子供会など、いろいろの機関および団体が、それぞれの分野で積極的な活動を続けておられます。

しかし、最近、全国的に青少年の健全育成および非行防止をはじめとする総合対策の必要にせまられ、これが真剣に検討されているとき、本市においても、これらいくつかの関係団体が密接な連絡を行い、協力しながら一貫した対策

を効果的に進めるために、このたび、市議会の議決を得て、長岡市青少年問題協議会が設置されることになりました。

この協議会は、市長が会長となつて市議会議員、教育委員、関係機関、団体の代表者、学識経験者などのなかから二十人を委員に委嘱のうえ、青少年対策に関する必要事項を調査審議し、また、その対策が適切に実施されるように関係機関、団体との連絡調整にあたることになっております。

近く、委員二十人が委嘱され、初会合が開かれて会の運営や、家庭学校、職場、地域社会が一体となつて青少年の健全育成をはかるための基本的な施策について協議が行なわれる予定です。

